

平成の教育の主なできごとと学力研の歩み

(編集 金井敬之)

- 平成元(1989)年 3月 道徳教育などを重視した小中高の新学習指導要領告示
- 11月 「子どもの権利条約」国連総会で採択(日本は94年4月批准)
- 2 (1990)年 7月 神戸県立高校校門圧死事件
- 4 (1992)年 9月 学校週5日制スタート(毎月第2土曜が休みになる)
- 5 (1993)年 1月 山形県新庄市中学マツト窒息死事件
- 7 (1995)年 1月 阪神淡路大震災発生
- 8 (1996)年 7月 大阪府堺市O157食中毒事件
- 9 (1997)年 6月 兵庫県神戸市連続小学生殺傷事件
- 10 (1998)年 12月 教育内容3割削減の新学習指導要領告示
- 11 (1999)年 8月 国旗・国歌法案成立
- 12 (2000)年 5月 学級崩壊の分析調査を文部省関係機関が公表(90年代半ばから学級崩壊が顕著になる)
- 13 (2001)年 1月 文部省と科学技術庁が文科省に統合
- 6月 大阪府池田市大阪教育大付属池田小で児童殺傷事件
- 8月 落ち研(学力の基礎をきたえ落ちこぼれをなくす研究会)から学力研(学力の基礎をきたえどの子も伸ばす研究会)に名称変更
- 10月 国民スペシャルで京都市立新林小学校(久保齋勤務校)の学校ぐるみの実践が放映
- 14 (2002)年 4月 完全学校週5日制開始
- 8月 第38回学力研全国大会 821名参加(記念講演 川島隆太)

- 15 (2003)年 4月 大阪で評価・育成システム(人事考課制度) 試行実施
100ます計算が全国的ブームになる
- 8月 第40回学力研全国大会 917名参加(記念講演 森 昭雄)
- 16 (2004)年 4月 評価・育成システム本格実施
- 12月 OECDのPISA調査で15歳の読解力が前回の8位から14位に後退
- 18 (2006)年 4月 評価・育成システムの評価結果の給与反映を実施
- 8月 第46回学力研全国大会 913名参加(記念講演 齋藤 孝)
- 12月 「愛国心」が盛り込まれた改正教育基本法が成立
- 12月 岸本裕史先生死去(享年76歳)
- 19 (2007)年 4月 全国学力・学習状況調査43年ぶりに復活
- 20 (2008)年 3月 学習内容を増やす学習指導要領告示
- 22 (2010)年 4月 公立高校の授業料無料化開始
- 23 (2011)年 3月 東日本大震災発生
- 24 (2012)年 4月 中学校での武道必修化
- 25 (2013)年 1月 安部首相の私的諮問機関で、道徳の教科化を検討
- 27 (2015)年 6月 公職選挙法改正 選挙権年齢を18歳以上に引き下げ
- 29 (2017)年 3月 「主体的・対話的で深い学び」「道徳・英語の教科化」「プログラミングの必修化」を掲げる次期学習指導要領告示

示

※昭和59(1984)年 1月 第1回 関西落ちこぼれをなくす研究交流集会(於:府立労働センター)

昭和60(1985)年 5月 「落ち研」結成集会(めざすもの、規約、代表委員など決定)

(於:府立労働センター)

参考資料 毎日新聞11月20日「平成の記憶」